

令和 6 年度 (第 1 8 回) 関東ブロック高等学校生徒商業研究発表大会

研究報告書の様式等について

1 表 紙

大会名、発表タイトル、県名、学校名、生徒氏名、指導者氏名を記載すること。

2 ページ数

- (1) 表紙を含め A 4 用紙 2 4 ページ以内 (上限 1 2 枚まで)
- (2) ページ数の超過については減点対象とする。

3 書 式

- (1) A 4 判縦型レポート形式を推奨する。
- (2) 文字数：1 ページ 4 0 行×4 0 字程度
※ 図表は含まないものとする。
- (3) 文字ポイント：1 0 . 5 ~ 1 2 . 0 ポイント (推奨)
※ 見出し等は該当しない。
- (4) マージン：上下左右余白 2 0 mm (推奨)
- (5) ヘッダー：何もいれないことを推奨する。
- (6) フッター：ページ番号を挿入

4 提出方法

2 0 部を印刷して、ステープラーで綴じ、U S B メモリーを添えて大会事務局へ郵送する。

5 そ の 他

- (1) 研究報告書の様式は、(別紙 12-2) **報告書様式推奨例** を参照してください。
- (2) 審査対象となる部分とそうでない部分を、審査委員が明確に読み取れるよう章立てなどを工夫してください。なお、別紙 12-2 の『章立て例』は、推奨例のため強制ではありませんが、審査対象を明確にするため、継続的研究に関しては「これまでの流れ」(審査対象外研究の概説) という意味合いの項目を設けるか、資料集内にそれらを提示するようにしてください。
- (3) 資料は、別紙 12-2 のとおり、「資料集」という体裁で本文終了後にまとめて提示するスタイルを推奨します。なお、資料集も全体ページ数に含めて作成してください。
- (4) 報告書全体を読みやすいものにする工夫や内容を簡潔明瞭にまとめ上げる力も審査に反映します。審査基準(別紙 2) の【1】審査項目及び配点「1 研究内容・2 研究報告書の完成度」の項目について確認ください。
- (5) 研究報告書以外の資料は受け付けられませんので、添付しないでください。

報告書様式推奨例

【表紙例】

(大会名)

タイトル

副タイトル

県名・学校名
生徒氏名
指導者氏名

【章立て例】

目 次

1 はじめに
(テーマ設定理由)

2 これまでの流れ
(審査対象外研究の概説)
※継続研究した場合のみ

3 【以下本文】

}

n おわりに

～資料集～
(1) ○○○
(2) ◇◇◇

例) ○学校紹介 ○各種バックデータ ○アンケート様式 etc

